

番号：140444

国名：ウガンダ

担当：人間開発部社会保障課

案件名：産業人材育成体制強化支援プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年7月中旬から2014年8月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.50M/M、合計 1.00M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	15日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：6月25日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	ウガンダ／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：なし
- (2) 必要予防接種：

黄熱：入国に際してイエローカード（黄熱病予防接種証明書）が必要です。

6. 業務の背景

ウガンダ共和国（以下、ウガンダ）は近年堅調な経済発展を遂げており、毎年平均7%のGDP成長を記録し、一人当たりの国民総所得及び海外直接投資額はこの十年でそれぞれ約1.5倍、約6倍に増加している（World Bank, UNCTAD, 2014）。2006年に北部で油田が発見されたことも国内経済に良い影響を与えており、今後一層の経済成長が見込まれるが、他方で所得の高い技術職には外国人労働者が多く雇用され、若者の雇用機会が十分に保障されておらず、貧富の差を示すジニ係数も拡大傾向にある（World Bank, 2014）。経済成長に伴って産業界の求める人材像は多様化しており、そのニーズに対応出来る人材育成の重要性はこれまで以上に高まっている。

我が国はこれまで無償資金協力及び技術協力を通じてナカワ職業訓練校（Nakawa Vocational Training Institute. 以下、NVTI）に対する支援を実施してきた。1997年～2004年に実施した「ナカワ職業訓練校プロジェクト」では自動車、電気、電子、機械など7分野における指導員の能力向上及び訓練実施体制の整備が行われている。その成果を国内外の職業訓練校に普及する事を目的に、「職業訓練指導員研修プロジェクト」（2004～2006）、「職業訓練指導員養成プロジェクト」（2007～2010）が続けて実施され、NVTIにおける指導員育成機能が強化されるとともに、国内及び東アフリカ地域周辺国の指導員育成への貢献が可能な体制を確立した。

職業訓練・技術教育分野を管轄する教育スポーツ省では、2011年に同分野の国家戦略計画である「Skilling Uganda」を取りまとめ、1) 経済発展に資する人材育成、2) 訓練の質改善、3) 女性・貧困層・障害者といった社会的弱者への訓練アクセス改善、4) 訓練体制のマネジメント改善、5) 訓練実施のための効率的なリソース活用、の5点を今後の重点課題と定めている。同省は、産業界のニーズに応える高度な技能を有する人材の育成を目的としてNVTIの短大化（ナカワカレッジ）を予定しているが、ウガンダにおけるディプロマ資格は理論重視で実践性に欠ける傾向があるとの指摘が日系企業含む産業界から出されている。このような状況のもと、ウガンダ政府より、理論と実践的な技能が両立した、NVTIにおけるディプロマコースの開設について我が国に協力の要請があった。

本協力では、民間企業のニーズにこれまで十分に対応しきれていなかった従来の職業訓練アプローチにとどまらず、産業界が積極的に参画する形でのディプロマコース形成、効果的な民間リソース活用を通じた訓練の質改善等の取り組みを想定しており、NVTIの機能強化だけではなく、官民連携を通じたディプロマ資格全体の質向上も期待されている。また、協力の過程において、より多くの社会的弱者（女性、障害者等）がNVTIでの訓練にアクセスしやすくなるよう適切な配慮も行う。

本詳細計画策定調査ではウガンダ国政府からの協力要請の背景、内容を確認し、先方政府機関及び関連する民間企業との協議を経て、今後の協力計画を策定するとともに、当該プロジェクトの事前評価を行うために必要な情報を収集、分析することを目的とする。

7. 業務の内容

本コンサルタントは、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、「新 JICA 事業評価ガイドライン 第1版」に沿って担当分野に係る以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2014年7月中旬～7月下旬）

- ア 要請背景・内容を把握する（関連報告書等の資料、情報の収集、分析）。
- イ JICAがこれまでウガンダにおいて実施した本分野の協力について、情報を確認する。
- ウ 他ドナーが実施する本分野での協力に関して資料・情報の収集と分析を行う。
- エ 調査中に聞き取りを行う関係者に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- オ 現地地で収集すべき情報を検討し、評価グリッド（和文）を作成する。
- カ PDM（案）（和文・英文）、PO（案）（和文・英文）及び事業事前評価表（案）（和文）について、JICA人間開発部担当者との相談の上、作成準備を行う。
- キ 人間開発部との事前打ち合わせ、対処方針会議等に参加する。

- (2) 現地派遣期間 (2014年7月下旬～8月上旬)
- ア JICA ウガンダ事務所との打ち合わせに参加する。
 - イ ウガンダ側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
 - ウ ウガンダにおける本分野に関し、以下の情報・資料を収集し、現状を把握する。
 - (ア) 開発計画における本プロジェクトの位置付け
 - (イ) 社会的動向 (現状、課題、対策状況等)
 - (ウ) 人材育成分野における中長期的な計画の有無及び内容
 - (エ) ウガンダ側の実施体制 (組織・予算・人員配置・関係機関間の連携等)
 - (オ) 他ドナー・機関の援助動向及び協力の効果発現状況
 - (カ) ウガンダ経済団体、企業 (日系含む) など産業界側の人材ニーズ
 - エ PDM (案) (和文・英文)、PO (案) (和文・英文) の作成に協力する。
 - オ ウガンダ側関係者との協議で合意された内容につき、R/D (案) 及びM/M (案) の取りまとめに協力する。
 - カ 評価5項目の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表 (案) の作成に協力する。
 - キ 担当分野に係る現地調査結果を JICA ウガンダ事務所等に報告する。
- (3) 帰国後整理期間 (2014年8月上旬～8月中旬)
- ア 事業事前評価表 (案) を作成する。
 - イ 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
 - ウ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書 (案) を作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は (1) ～ (2) のすべてとする。

- (1) 事業事前評価表 (案) (和文・英文)
- (2) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書 (案) (和文)

上記 (1) ～ (2) については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します (見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年7月26日～2014年8月9日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 協力企画 (JICA)
- ウ) 電気・電子 (関係機関)
- エ) 機械 (関係機関)
- オ) 評価分析 (コンサルタント)

③便宜供与内容

当機構ウガンダ事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿泊手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行

(2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

・ウガンダ 職業訓練指導員養成プロジェクト終了時評価調査報告書

(3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上